

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1. 使用構造材料等

※印は、W/C 60%以下 AE減水剤使用			
適用箇所	種類	設計基準強度	スランプcm
捨コンクリート	普通	F _c = 18	15
土間コンクリート	普通	F _c = 21	15
基礎、基礎梁、耐圧版	普通	※ F _c = 21	15
柱、梁、床、壁	普通	※ F _c = 21	18
押えコンクリート	普通	F _c = 18	18

(2) 鉄筋の最小かぶり厚さ

構造部分の種別		コンクリートの種類	普通コンクリート
土に接し ない部分	柱 梁 耐力壁	屋内 屋外	30 mm 40
土に接す る部分		柱・梁・スラブ・壁 基礎	40 60

(3) 鉄筋

	材 料	径	使用箇所
異形鉄筋	SD295A	D10, D13, D16	構造躯体
	SD345	D19	構造躯体

(5) 鉄筋記号

異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記 号	-	X	ø	•	○	◎	☒	◎

(6) 隣り合う継手位置要領

継手種類	a	要 領 図
重ね 継手 の 場 合	フックの ある場合	a = 0.5L a ≥ 0.5L
	フックの ない場合	a = 0.5L a ≥ 0.5L
重ね 継手 の 場 合	フックの ある場合	a = 0.5L a ≥ 0.5L
	フックの ない場合	a = 0.5L a ≥ 0.5L

(8) 鉄筋の折曲げ

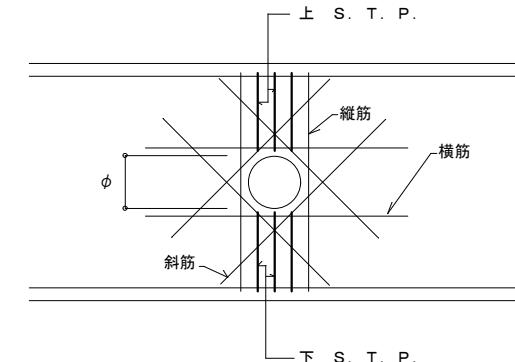
折曲げ 角 度	折 曲 げ 図	使用箇所	鉄筋の 種 類	折り曲げうちのり寸法 D		鉄筋の 余 長
				D 16 以下	D 19 ~ D 38	
未 端	180	柱・梁の 主筋 等 D 16 以上	SD295A SD345	3 d 以上	4 d 以上	4 d 以上
	135	あばら筋 帶 筋 D 13 以下	SD295A SD345	3 d 以上	4 d 以上	6 d 以上
部 中 間 部	90	T・L形の あばら筋	SD295A SD345	3 d 以上	4 d 以上	8 d 以上
	90 以下	あばら筋 帶 筋 スパイラル筋	SD295A SD345	3 d 以上	4 d 以上	
		その他の鉄筋	SD295A SD345	4 d 以上	6 d 以上	

記号 d : 鉄筋の呼び名

間隔	あき	D
(注) d : 呼び名の数値 D : 鉄筋の最外径		
間隔の最小値		
公称直径の1.5倍+最外径		
粗骨材最大寸法の 1.25倍+最外径		
あきの最小値		
呼び名の数値の1.5倍		
粗骨材最大寸法の1.25倍 25 mm		

2. 梁貫通補強要領

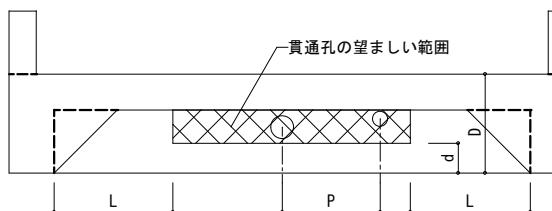
D	D ≤ 450		D ≤ 600	
	配筋	イ ロ ハ ニ	イ ロ ハ ニ	イ ロ ハ ニ
ø				
ø ≤ 100		II		II
100 < ø ≤ 150		II		II
150 < ø ≤ 200			II	III



記号	イ	ロ	ハ	ニ
あばら筋	径	D 10	D 13	D 13
	間隔	200	150	200

補強筋 補強種別	斜筋	縦筋	横筋	上下S.T.P.
II	4-a-D 13	2x1-a-D 13	2-a-D 13	a-D 13@80
III	4-a-D 13	2x2-a-D 13	2-a-D 16	

a : 貫通のあく梁のスターラップの総本数

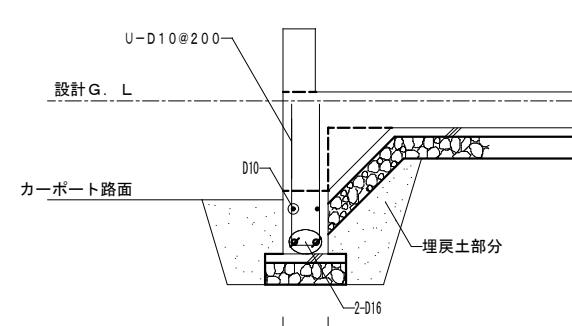


細則

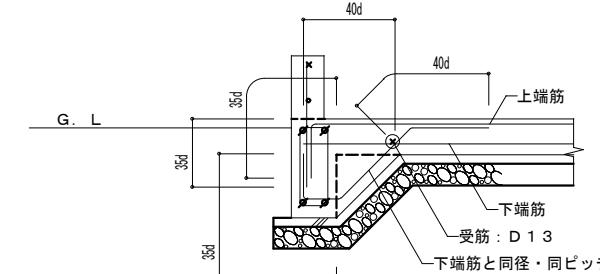
- (1) 最小ピッチ $P \geq 3 (\phi + \phi/2)/2$
- (2) 孔の上下位置 $D < 500 : d \geq 125$
 $500 \leq D < 600 : d \geq 150$
 $600 \leq D < 700 : d \geq 175$
 $700 \leq D < 900 : d \geq 200$
 $900 \leq D : d \geq 250$
- (3) 最大孔径 $\phi \leq D/3$
- (4) 孔の中心位置 $L \geq 1.2D$
- (5) 補強を要しない孔径 $\phi \leq D/10$ かつ $\phi \leq 150$ かつ
スターラップを切断しないで施工可能な径

3. 地中梁増打ち補強

軟弱な埋戻土にべた基礎が載る場合は埋戻土の地盤改良を行う。



4. 耐圧版の定着



構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木正二	都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士大臣登録 第190003号 承認 設計 担当 製図 工事名 一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号 熊谷藤樹	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事 工事名 図面名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図	縮 尺 設計年月日 非縮尺 2013/02/07

S-01

建築基準法対応在来木造仕様図

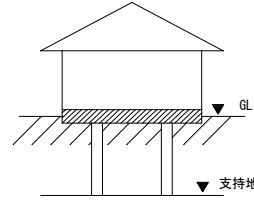
発行 ブルグレイブ TEL 0471-59-6192

地耐力に応じた基礎の仕様規定

(建設省告示第1347号の解説)

(令38条第3項)

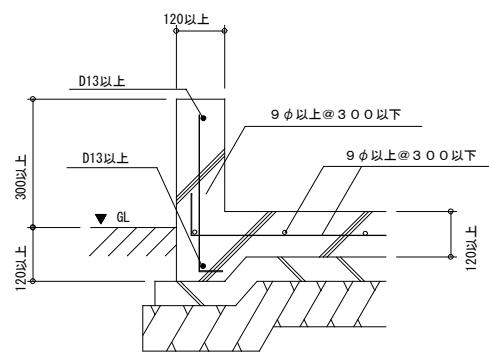
- ① 地耐力が $20\text{ kN}/\text{m}^2$ 未満の場合
「基礎ぐい」仕様に



・地耐力 $20\text{ kN}/\text{m}^2$ 未満の場合は、基礎ぐいを用いた構造とする必要がある。(地耐力約2トンに相当)

基礎杭は鉄筋コンクリート造の基礎杭を設ける事。
場所打ちコンクリート杭は主筋として異形鉄筋6本以上を用い、かつ、帯筋を使用。
主筋の断面積の合計は杭断面積の0.4%以上。
PC杭はJIS A 5337-1995に又 JIS A 5310-1995に適合すること。
鋼管杭は杭の肉厚6mm以上、かつ、杭直径の1/100以上。

- ② 地耐力 $20\sim30\text{ kN}/\text{m}^2$ の場合
「基礎ぐい」または「べた基礎」仕様に



・地耐力 $20\sim30\text{ kN}/\text{m}^2$ の場合は、基礎ぐいまたはべた基礎とする必要がある。(地耐力約2~3トンに相当)

1) べた基礎の配筋仕様
① 立上り部分の主筋は、径12mm以上の異形鉄筋を用い、上端および底盤に配置し、補強筋を緊結する。

② 立上り部分の補強筋は9mm以上、縦の間隔は300mm以下

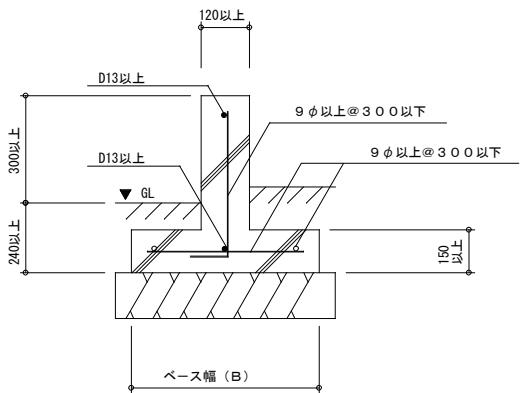
③ 底盤の補強筋は9mm以上、縦横の間隔は300mm以下

2) 立上りや根入れ寸法、ベース厚など

④ 立上り高さ30cm以上、厚さ12cm以上

⑤ 根入れ深さ12cm以上、底盤厚さ15cm以上

- ③ 地耐力 $30\text{ kN}/\text{m}^2$ 以上の場合
「基礎ぐい」、「べた基礎」または「布基礎」仕様



※ 底盤の幅 $\leq 24\text{ cm}$ の場合には不要

・地耐力 $30\text{ kN}/\text{m}^2$ 以上の場合、基礎ぐいまたはべた基礎以外に布基礎とすることができます。(地耐力約3トンに相当)

- 1) 布基礎の配筋仕様
① 立上り主筋はべた基礎と同様
② 立上り部分の補強筋はべた基礎と同じ
③ 立上り部分の補強筋は9mm以上、間隔は300mm以下とし、底盤両端部の9mm以上の鉄筋と緊結する

- 2) 立上りや根入れ寸法、ベース厚など
④ 立上り高さ30cm以上、厚さ12cm以上
⑤ 根入れ深さ24cm以上、底盤厚さ15cm以上

- 3) 地耐力に応じたベース幅

ベース幅(B)の基準	階数	
	平屋建	2階建
地耐力 $30\sim50\text{ kN}/\text{m}^2$	30cm	45cm
地耐力 $50\sim70\text{ kN}/\text{m}^2$	24cm	36cm
地耐力 $70\text{ kN}/\text{m}^2$ 以上	18cm	24cm

スラブの配筋

上部荷重 (kN/m ²)	短辺方向 スラブスパン (m)	短辺及び長辺方向 スラブの配筋 * 2 (mm)
平屋建 * 1 4.00	3.0 以下	D10@200S
	3.0 を超え 4.0 以下	D10@150S
	4.0 を超え 5.0 以下	D13@150S
2階建 * 1 7.50	3.0 以下	D13@150S
		D10@200
	3.0 を超え 4.0 以下	D13@100S
	4.0 を超え 5.0 以下	D13@150D

* 1 重い建物(屋根:日本瓦、外壁:土壁)

* 2 スラブの配筋

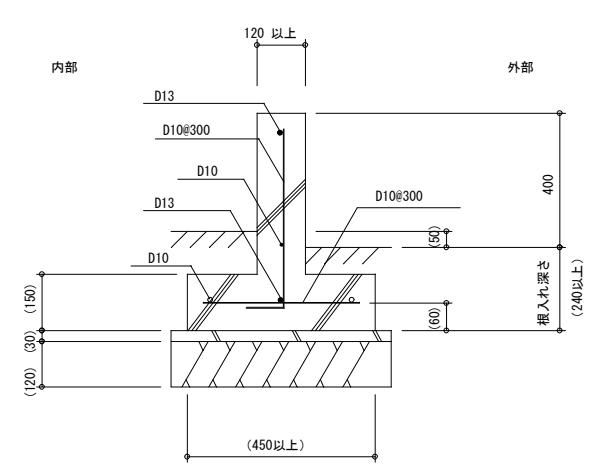
S: シングル配筋(スラブ厚150mm)

D: ダブル配筋(スラブ厚200mm)

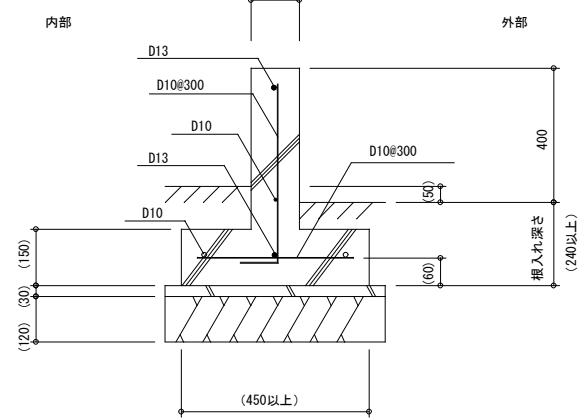
※ 住宅の品質確保の促進等に関する法律仕様規定によるスパン表より抜粋

公庫融資住宅技術基準

布基礎詳細 (mm)

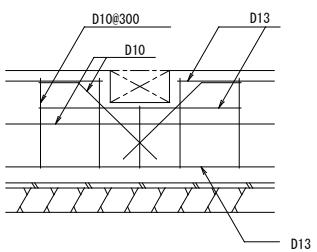


標準配筋図

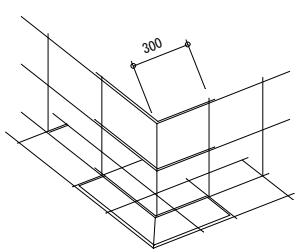


1. 布基礎各部の寸法のうち()内の寸法は一般的な参考例である。底盤の幅の決定にあたっては荷重条件及び地盤の地耐力を勘案して適切なものとする
2. 横筋のうち上下主筋はD13その他の横筋及び縦筋はD10とし、鉄筋の間隔は300mmとすることを標準とする

換気孔廻りの補強



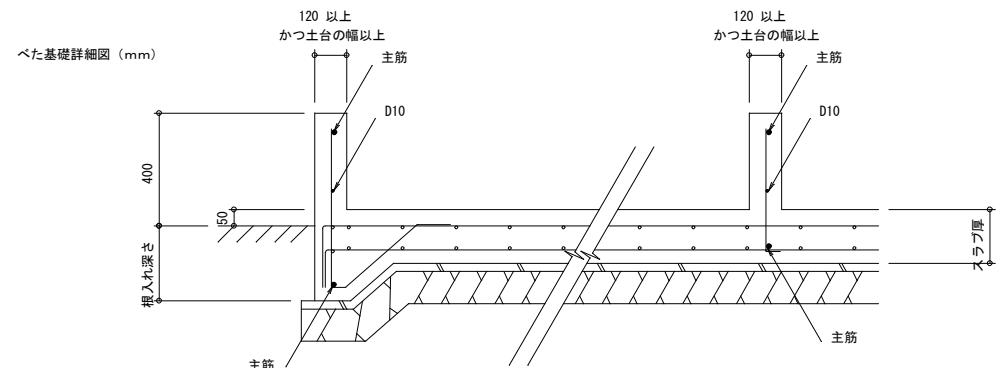
コーナー部補強



換気孔廻りはD13の横筋及びD10の斜め筋により補強する

隅角部では各横筋を折り曲げた上直交する他方向の横筋に300mm以上重ね合せる

べた基礎の構造



1. べた基礎の寸法及び配筋については、建設敷地の地盤状況を勘案のうえ、構造計算により、決定すること

2. 1階の床下地面は、建物周囲の地盤より50mm以上高くする

構造設計担当者
有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号
一級建築士 登録第207211号
構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木正二

都市開発コンサルタント株式会社

一級建築士大臣登録 第190003号

承認 設計 担当 製図 工事名

平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事

縮尺 設計年月日

非縮尺 2013/02/07

図面番号

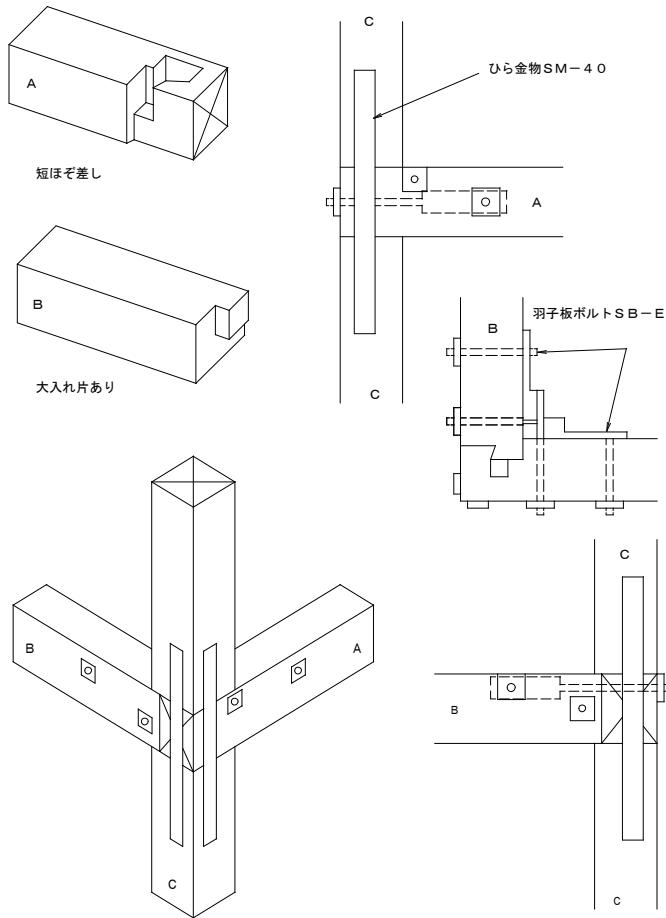
S-02

柱、梁、筋かい、HD金物等詳細図

床梁との納まり	土台の納まり	片側真壁における納まり	ボルトで締める筋かいプレート(例)	直交する床梁と筋かいの納まり②	直交する床梁と筋かいの納まり①																		
<p>床梁 (梁せいがAの時、ボルト長さL = A + 800を使用する)</p> <p>梁せいによるボルト長さ (mm)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>梁せい</th> <th>筋かいが上下の一方にある時</th> <th>筋かいが上下にある時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>A + 400</td> <td>A + 800</td> </tr> <tr> <td>120</td> <td>520</td> <td>920</td> </tr> <tr> <td>150</td> <td>550</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td>180</td> <td>580</td> <td>980</td> </tr> <tr> <td>210</td> <td>610</td> <td>1010</td> </tr> </tbody> </table>	梁せい	筋かいが上下の一方にある時	筋かいが上下にある時	A	A + 400	A + 800	120	520	920	150	550	950	180	580	980	210	610	1010	<p>(土台が120mmの時、座金付きボルトL = 510mmを使用する)</p>	<p>柱 120x120 筋かい厚さ4.5mmはOK 筋かい厚さ9.0mm(5.0mm以上)はOUT</p>			
梁せい	筋かいが上下の一方にある時	筋かいが上下にある時																					
A	A + 400	A + 800																					
120	520	920																					
150	550	950																					
180	580	980																					
210	610	1010																					
	大壁の場合の納め方	両側真壁(塗壁)における納まり	耐力壁の納まり	外壁T字部周辺の納まり																			
	<p>ホルダウン金物を柱芯より15mmずらす (内壁は大壁)</p>	<p>柱 120x120 ちり16mm ちり21mm 柱 120x120 ちり16mm ちり21mm</p>																					
筋かいプレートとホールダウン金物を同じ側に取り付ける場合の納まり	真壁における当て木の納まり	真壁造における構造用面材の張り方																					
<p>柱 120x120 筋かいプレートBP-2 M12ナット ホールダウン金物を柱芯からはずす</p>	<p>当て木 36x40mm</p>	<p>受材タイプ90x45の場合 (1) (2)</p>	<p>ホールダウン金物の取り付け柱面と直交する柱面に面材を伸ばす 有効面材 半柱 受け材 有効面材 半柱 受け材として半柱を使用する場合、長い六角ボルトを使う 受け材として半柱を使用する場合、長い六角ボルトを使用する</p>	<p>ホールダウン金物の取り付け柱面と直交する柱面に面材を伸ばす 有効面材 半柱 受け材 有効面材 半柱 受け材として半柱を使用する場合、長い六角ボルトを使用する</p>																			
	直交する場合の納め方	向き合わせに納める		柱の断面寸法が異なる場合の面材の納め方																			
	<p>角根平頭ボルト L=68 (カナイ)</p>	<p>直交するときには上下方向に45mmずらす 六角ボルトを共有できるようになるべく対正させる</p>		<p>柱の外面合わせ、内壁側は一部の柱を欠き取り調整 受け材 柱の外面合わせ、内壁側は受け材で調整 受け材 柱芯合わせ、外壁内側とも、一部の柱を欠き取り調整 受け材</p>																			
構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木 正二		都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士大臣登録 第190003号 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 5502 号	承認 設計 担当 製図 工事名 図面名 柱、梁、筋かい、HD金物等詳細図	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事 縮尺 設計年月日 非縮尺 2013/02/07	図面番号 S-04																		

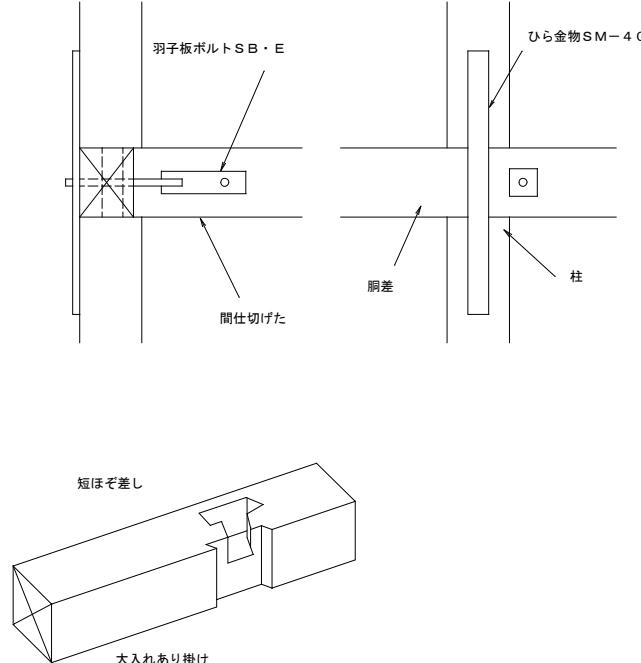
柱、梁、筋かい、アンカー等詳細図

すみ柱、出すみ（直交する胴差がほぼ同寸でかつ同一高さで取合う場合）

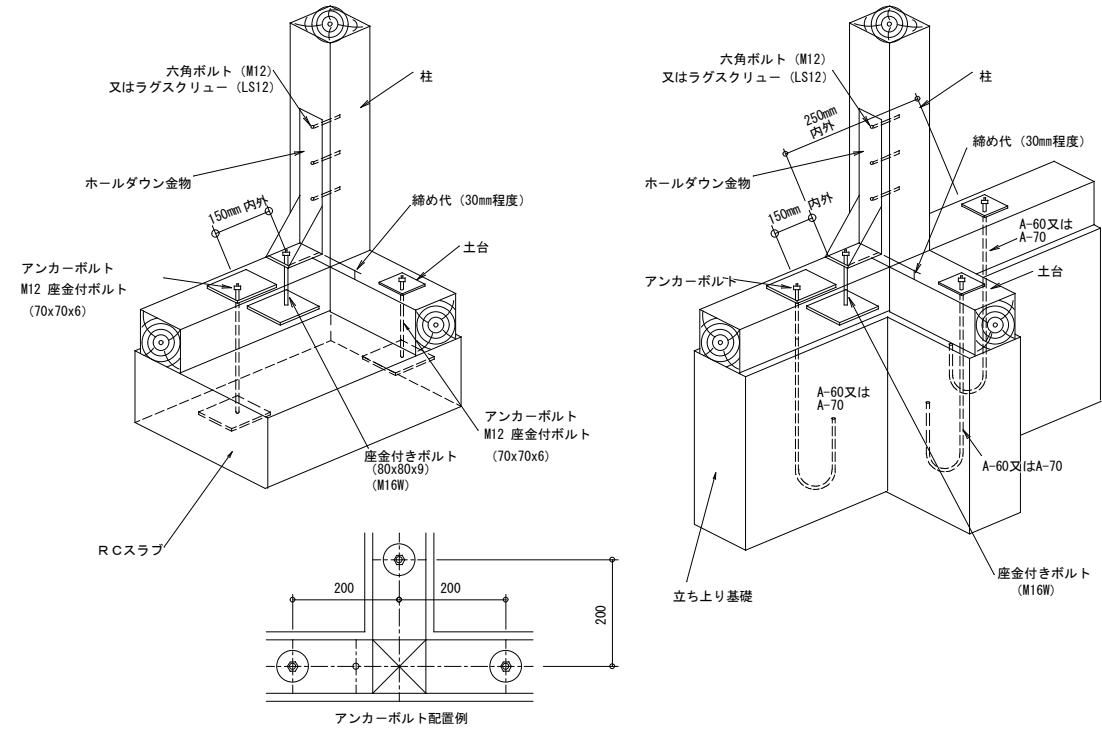


すみ柱に準ずる柱

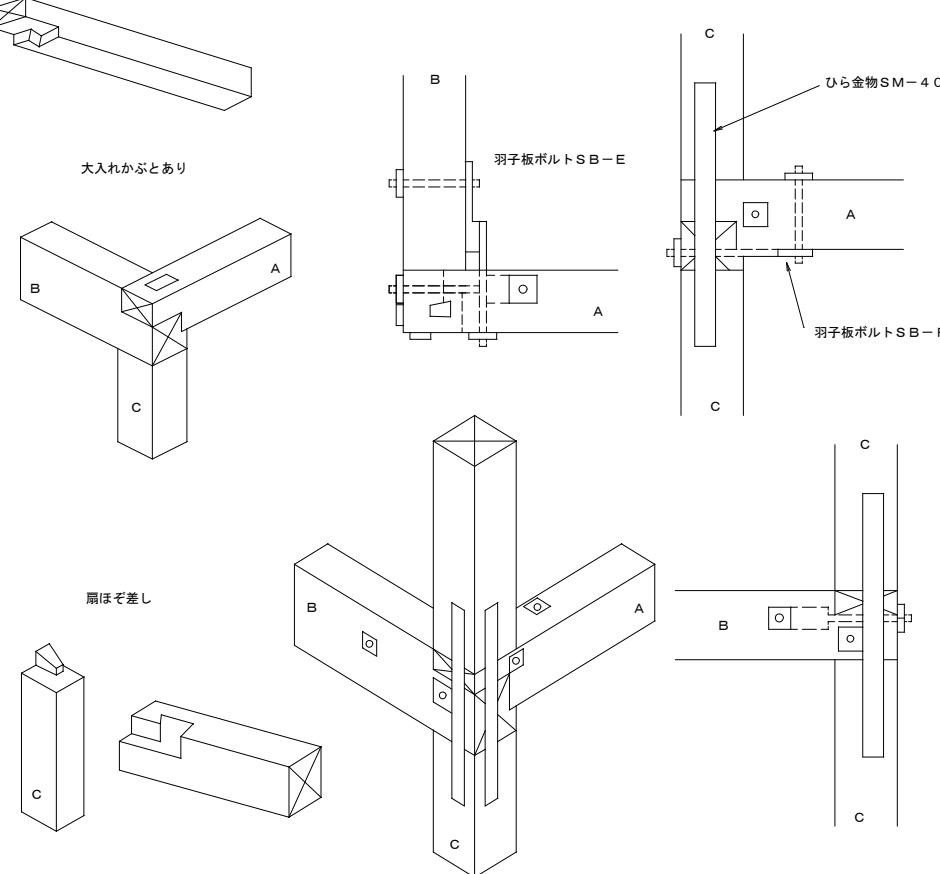
（胴差と同寸程度の間仕切折が胴差と直交して取合う場合）



座金付きボルト（M16W）を用いて土台と柱を緊結する場合



すみ柱、出すみ（直交する胴差の成が異り段違いに取合う場合）



特記なき限り（各伏図、軸組図共通）

土台 桁 : 120x120 防腐剤注入材、乾燥ドライ材

管柱 杉 : 120x120

間柱 杉 : 45x120

梁の表記

米松 : 120x120

梁の幅が書いていない幅は120mmとする。

梁のせいが書いてないせいは120mmとする。

床の表記

床組 構造用合板 : 厚12mm (千鳥)

くぎ打ちの方法…N50, @150

コンクリートの増打部分を示す

耐力壁の表記

筋違 : 45x90

筋違 : 45x90 タスキ

面材 : 構造用合板・特類 ($\alpha=2.5$) 厚9mm パネル壁工法

くぎ打ちの方法…N50, @150

柱頭・柱脚金物の表記 ○/○=柱頭金物／柱脚金物

CP かど金物 (CP-L及びCP-T同等認定品)

VP かど金物 (VP同等認定品)

SB 羽子板ボルト (SB-E同等認定品)

HD10 ホールダウン金物 (S-HD10同等認定品)

U15 ホールダウン金物 (S-HD15同等認定品)

U20 ホールダウン金物 (S-HD20同等認定品)

U25 ホールダウン金物 (S-HD25同等認定品)

U35 ホールダウン金物 (Sマーカ性能認定品)

U35+U15 ホールダウン金物 (Sマーカ性能認定品)

U35+U25 ホールダウン金物 (Sマーカ性能認定品)

・特記なき接合部は「かすがい (C) 同等認定品」以上の金物を設置する。

・筋違端部は「筋違プレート (BP-2) 同等認定品」で接合する。

凡例

○ : 通柱

■ : 土台プレート ((株)タナカ:土台プレートII同等品)

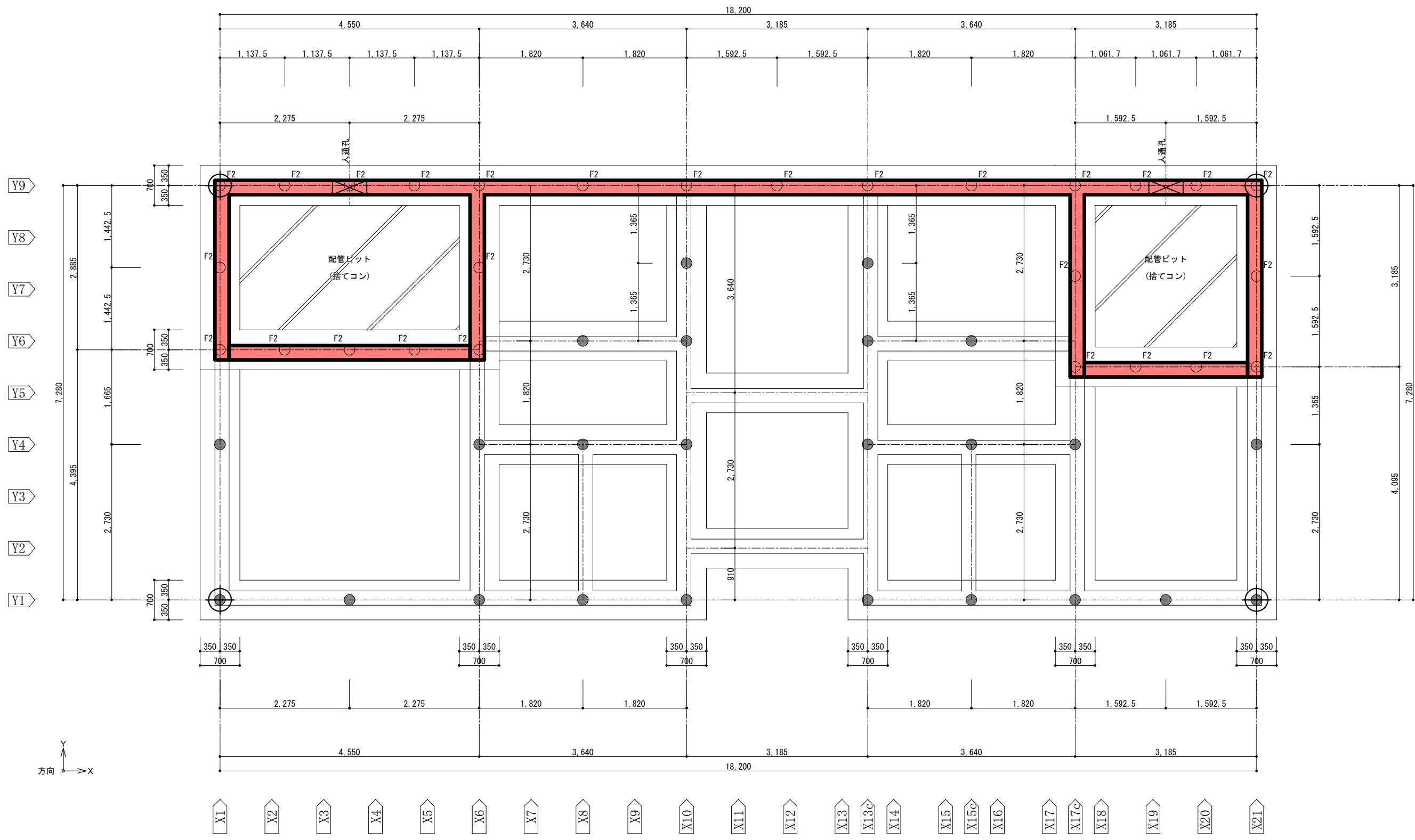
• : アンカーボルト M12 L=400

◎ : アンカーボルト M16 (ホールダウン金物併用) L=700

A : 腰掛け蟻、大入れ蟻掛け+羽子板ボルト(又は短冊金物)

B : 腰掛け蟻、大入れ蟻掛け+羽子板ボルト(又は短冊金物) × 2

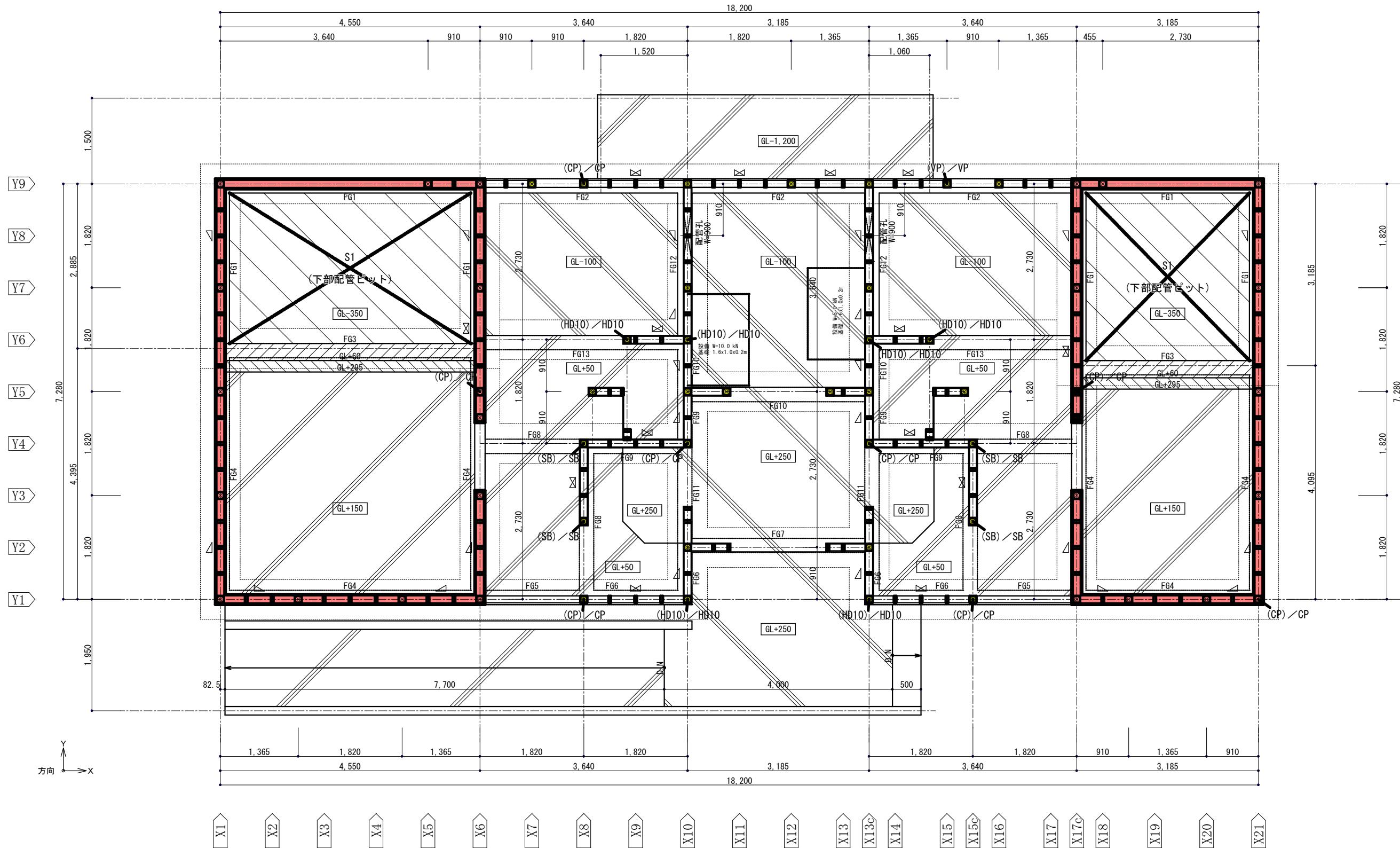
特記事項 特記なき限り	
●	基礎 : F 1
◎	試験杭を示す。



基礎 伏図

構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木正二	都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士大臣登録 第190003号 承認 設計 担当 製図 工事名 一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号 熊谷 藤樹	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事 図面名 基礎 伏図 縮尺 A2:1/50 A3:1/71 設計年月日 2013/02/07	図面番号 S-06
--	--	---	--------------

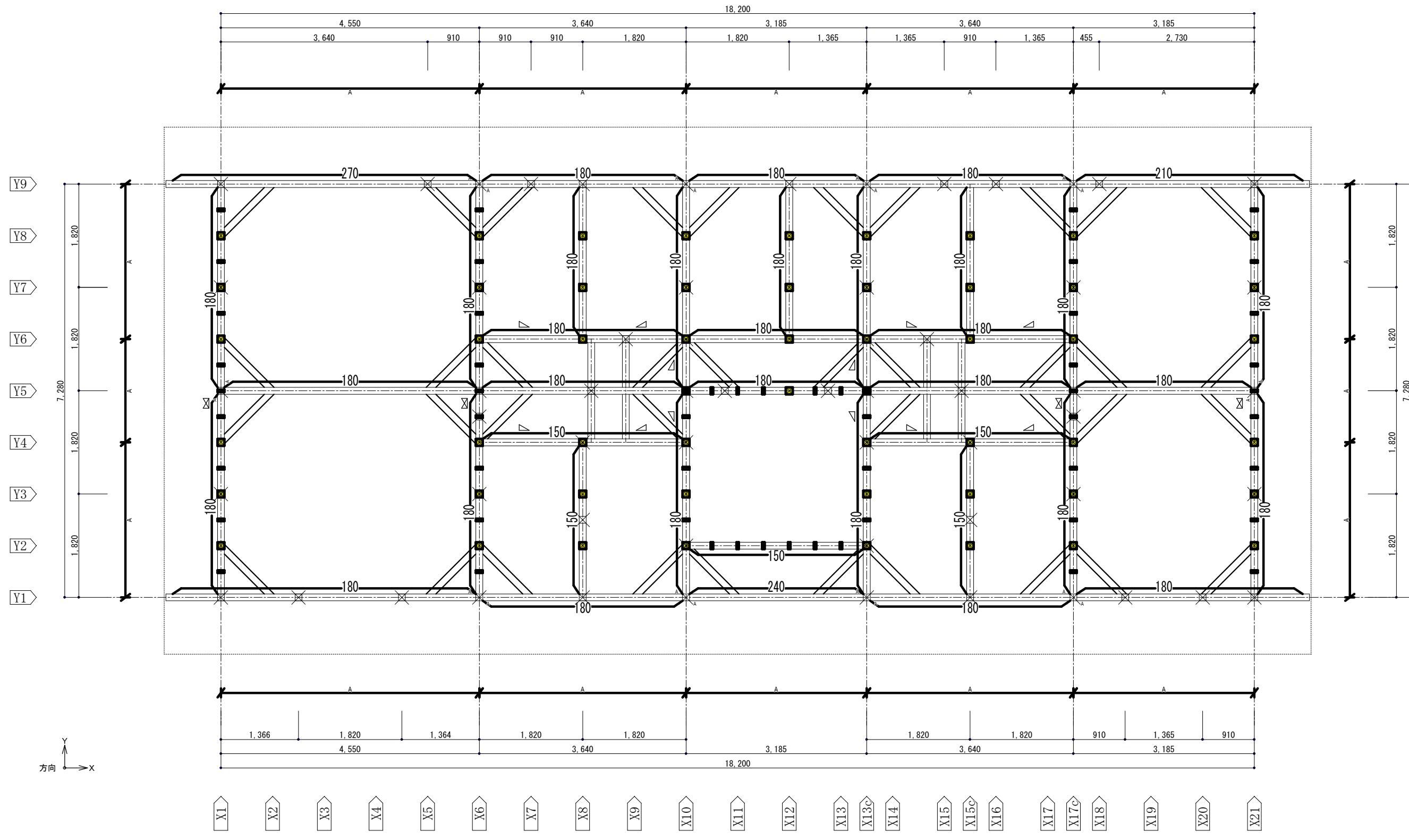
特記事項 特記なき限り	
金物の表記	()付きは柱頭金物を示す
① : CP	3.38 kN
② : VP	3.92 kN
③ : SB	5.00 kN
④ : HD10	10.00 kN



1 階 伏 図

構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木正二										都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
										一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊 谷 藤 樹				図面名	1 階 伏 図	縮 尺	設 計 年 月 日	S-07
															A2:1/50 A3:1/71	2013/02/07			

特記事項 特記なき限り
梁の幅が書いていない幅 (b) は 120 とする
梁のせいが書いてないせい (D) は 120 とする
A : 腰掛け鍵、もしくは、大入れ螺掛け+羽子板ボルト、又は短冊金物



構造設計担当者
有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号
一級建築士 登録第207211号
構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木正二

都市開発コンサルタント株式会社

一級建築士大臣登録 第190003号 承認 設計 担当 製図 工事名 平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事

一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号

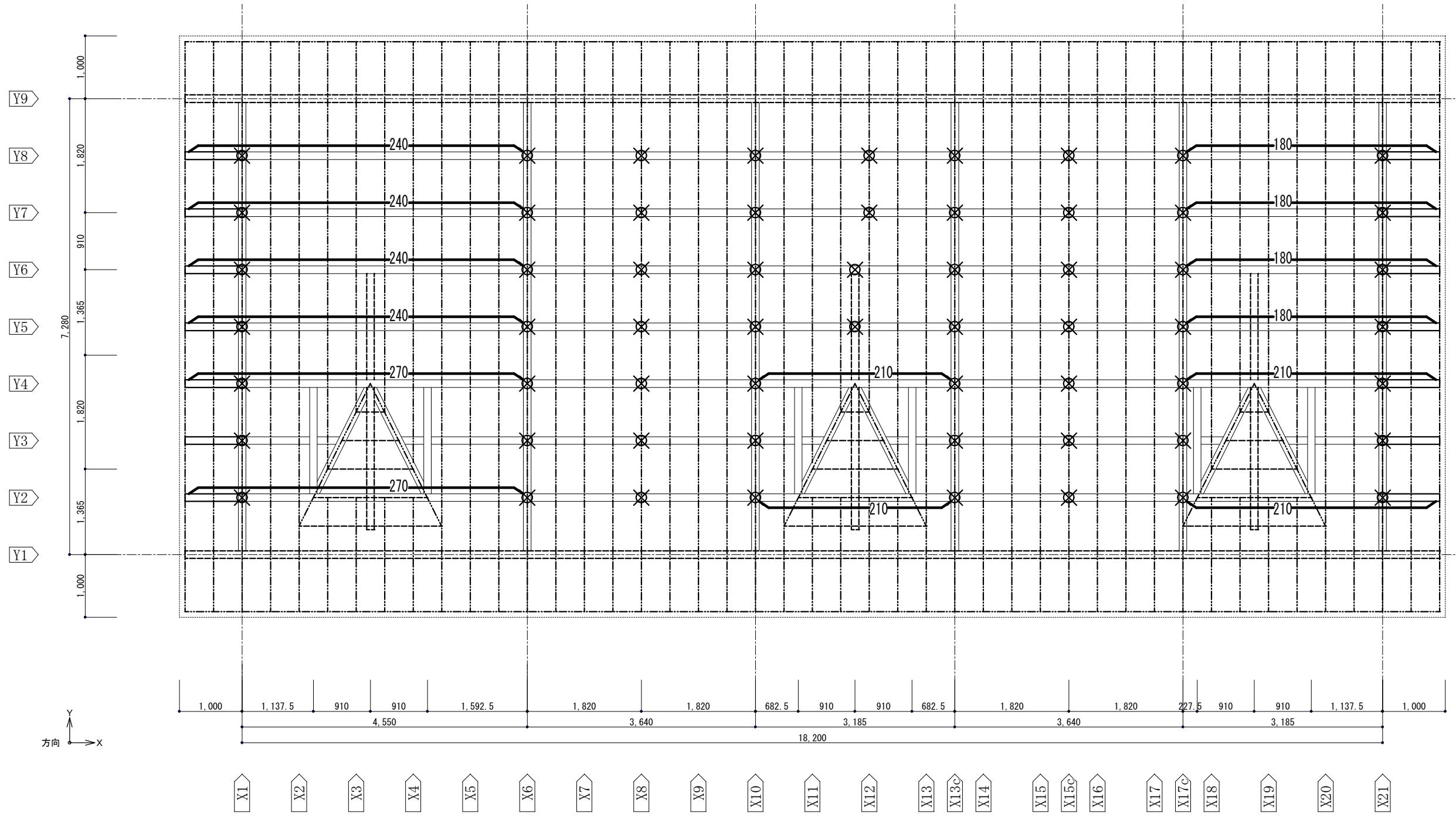
熊谷藤樹 図面名 火打構面伏図

図面番号

S-08

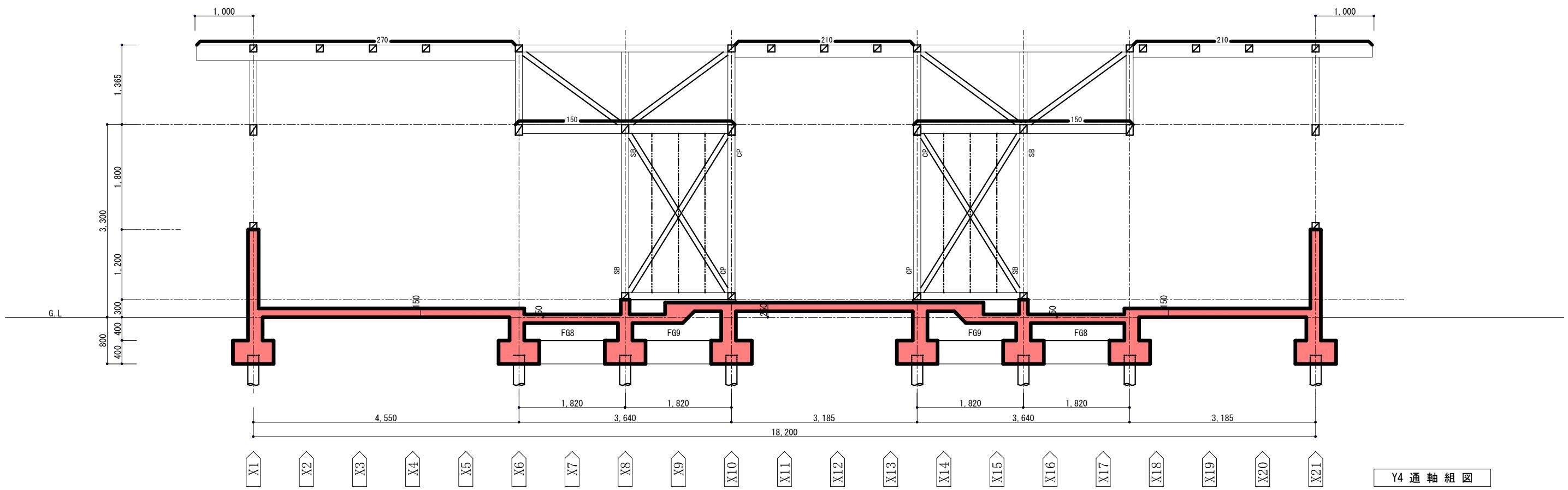
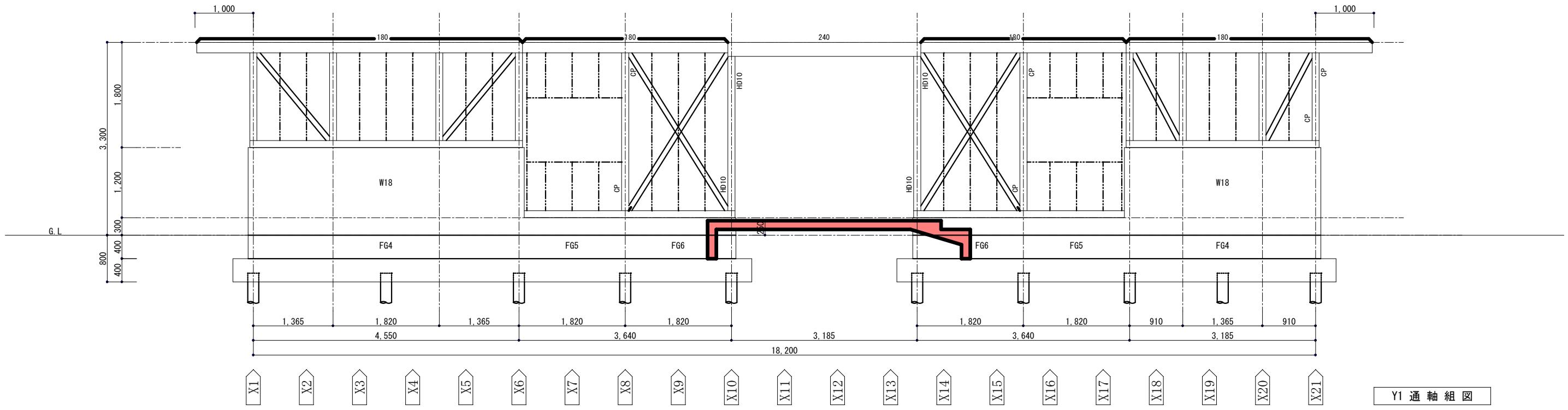
縮尺 設計年月日
A2:1/50 A3:1/71 2013/02/07

特記事項 特記なき限り
野地板 構造用合板 t=12mm
垂木 60x90 @455
束 120x120 @910
梁の幅が書いていない幅(b)は 120 とする
梁のせいが書いてないせい(D)は 120 とする



構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木正二	都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士大臣登録 第190003号 承認 設計 担当 製図 一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号 熊谷 藤樹	工事名 平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事 図面名 屋根構面伏図	縮尺 A2:1/50 A3:1/71	設計年月日 2013/02/07
				S-09

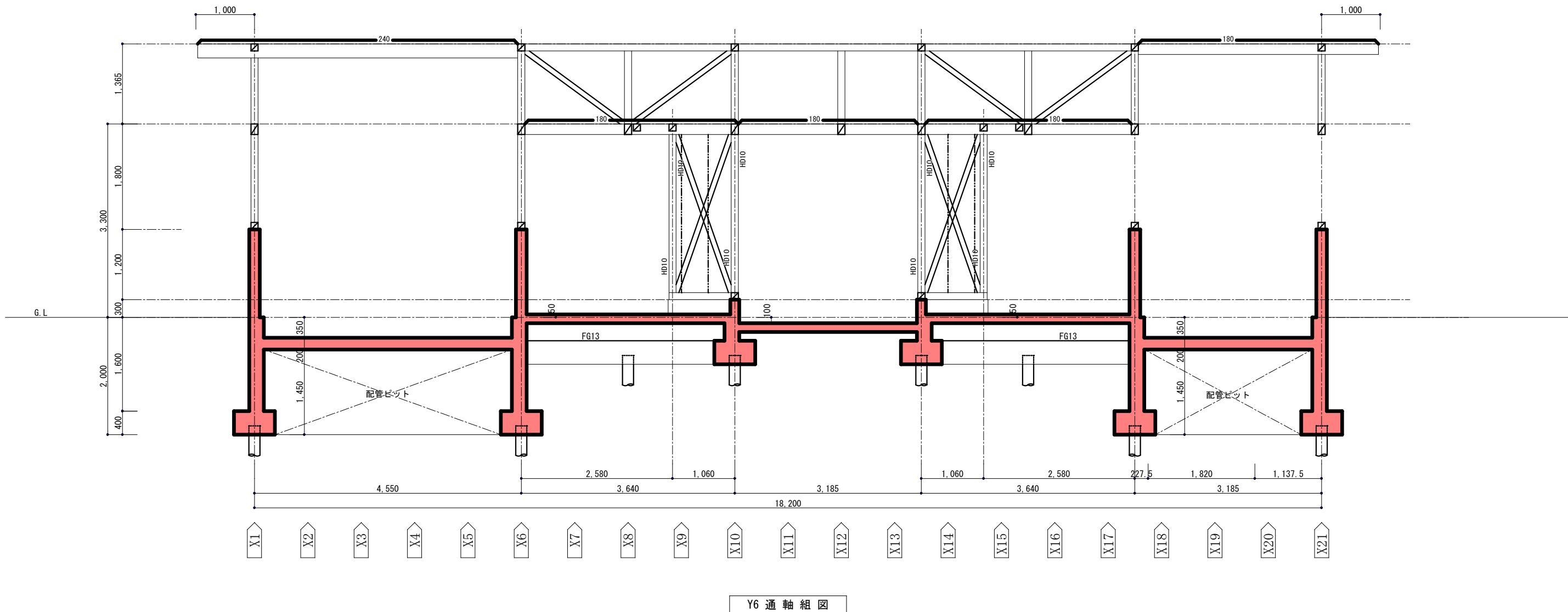
特記事項 特記なき限り	
土台 構造 : 120x120	
梁 米松 : 120x120	小屋束 杉 : 120x120
柱 杉 : 120x120	間柱 杉 : 45x120
筋達 杉 : 45x 90	



構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木正二	都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士大臣登録 第190003号 承認 設計 担当 製図 工事名 一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号 熊谷 藤樹	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事				縮尺 設計年月日 A2:1/50 A3:1/71 2013/02/07
		図面名	Y1、Y4通軸組図	A2:1/50 A3:1/71	2013/02/07	

S-10

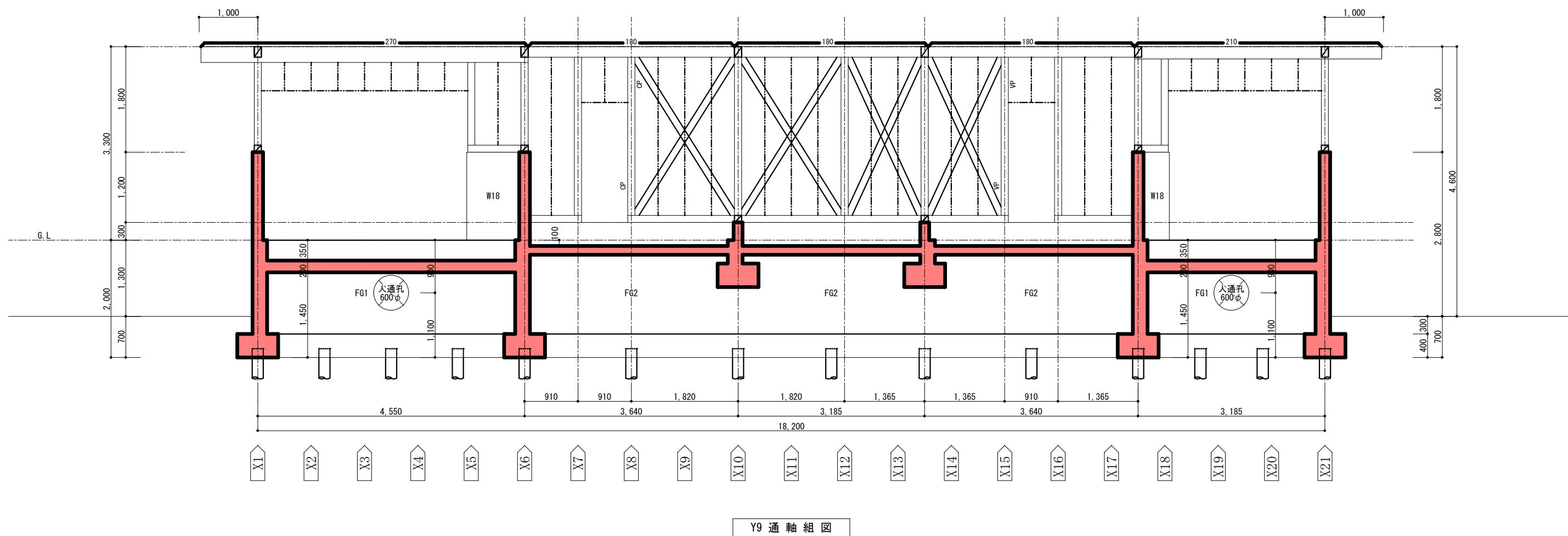
特記事項 特記なき限り	
土台 構造 : 120x120	
梁 米松 : 120x120	小屋束 杉 : 120x120
柱 杉 : 120x120	間柱 杉 : 45x120
筋達 杉 : 45x 90	



Y6 通軸組図

構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木正二	都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士大臣登録 第190003号 承認 設計 担当 製図 一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号 熊谷 藤樹	工事名 平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事 図面名 Y6 通軸組図	縮尺 A2:1/50 A3:1/71	設計年月日 2013/02/07
S-11				図面番号

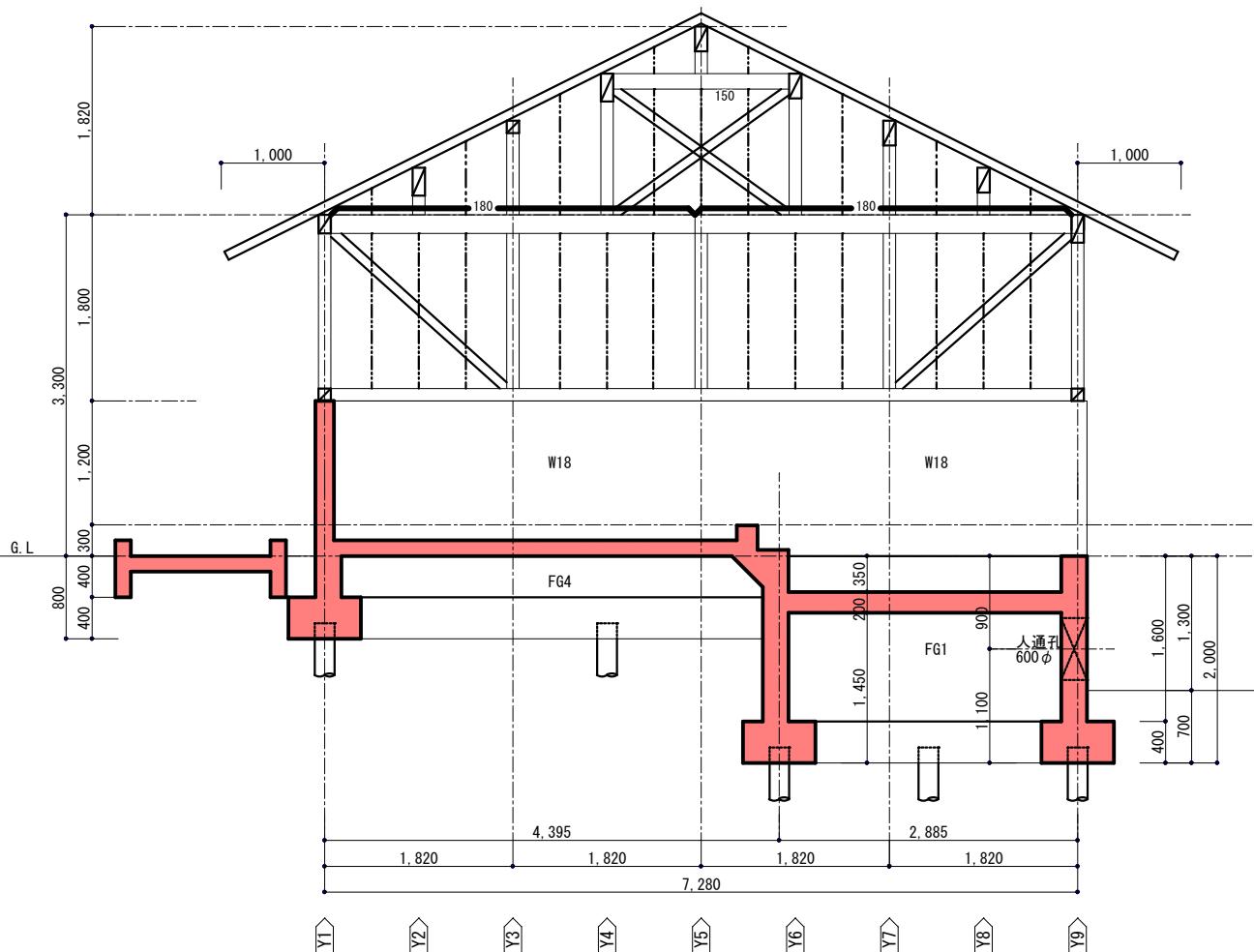
特記事項 特記なき限り	
土台 構造 : 120x120	
梁 米松 : 120x120	小屋束 杉 : 120x120
柱 杉 : 120x120	間柱 杉 : 45x120
筋達 杉 : 45x 90	



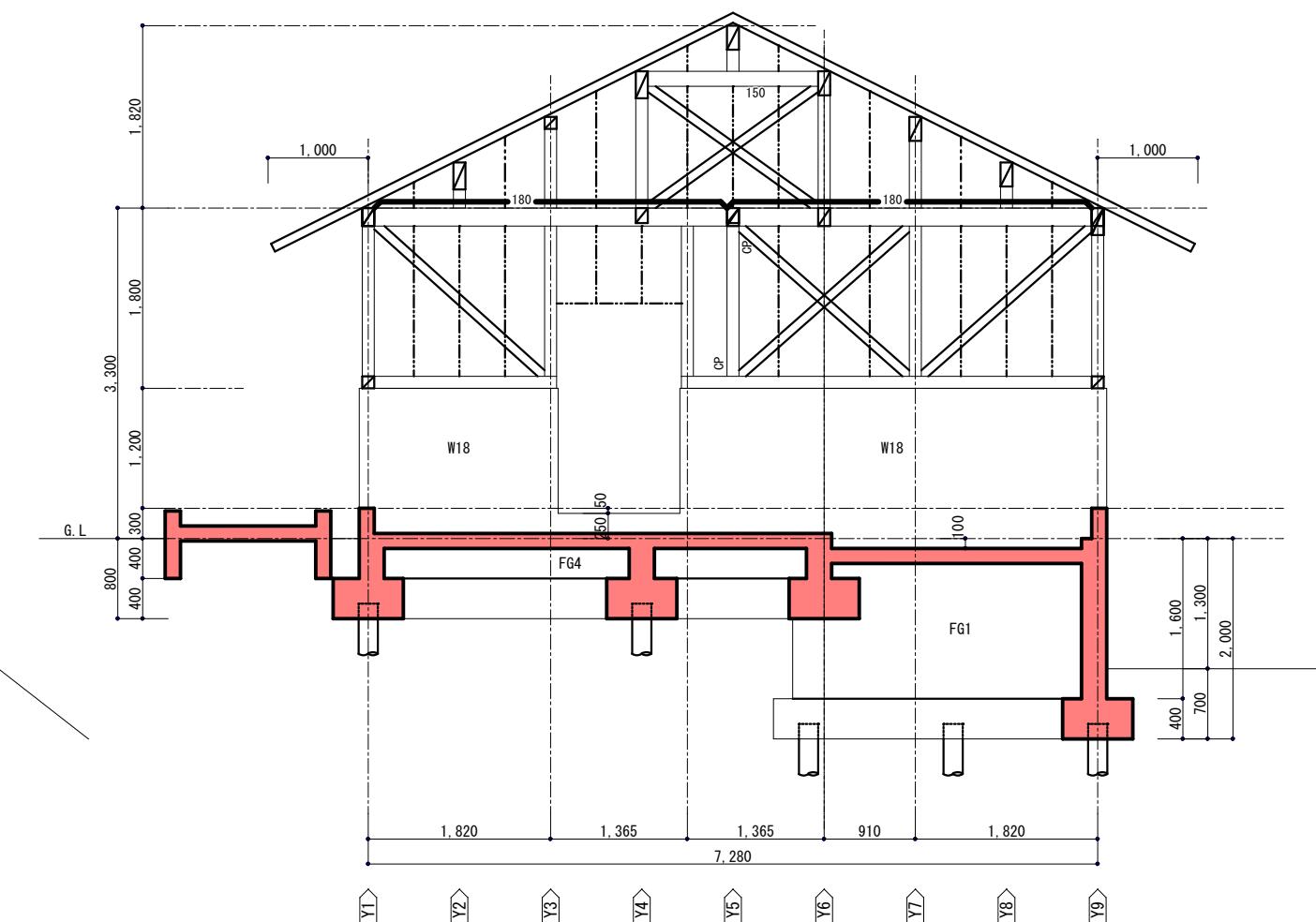
Y9 通軸組図

構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木正二	都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士大臣登録 第190003号 承認 設計 担当 製図 工事名 一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号 熊谷 藤樹	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事 図面名 Y9通軸組図	縮尺 A2:1/50 A3:1/71	設計年月日 2013/02/07
				S-12

特記事項 特記なき限り	
土台 構造 : 120x120	
梁 米松 : 120x120	小屋束 杉 : 120x120
柱 杉 : 120x120	間柱 杉 : 45x120
筋達 杉 : 45x 90	



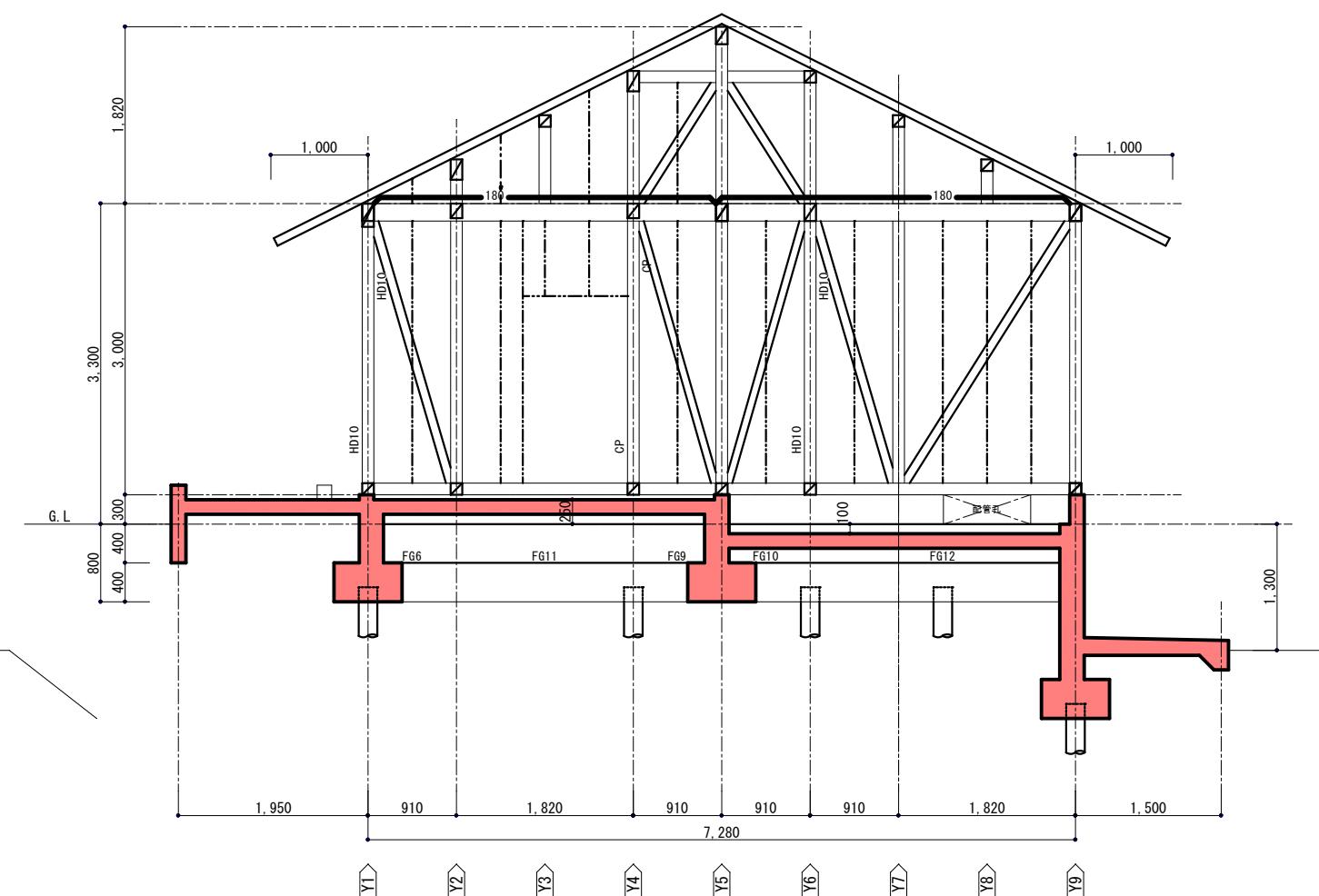
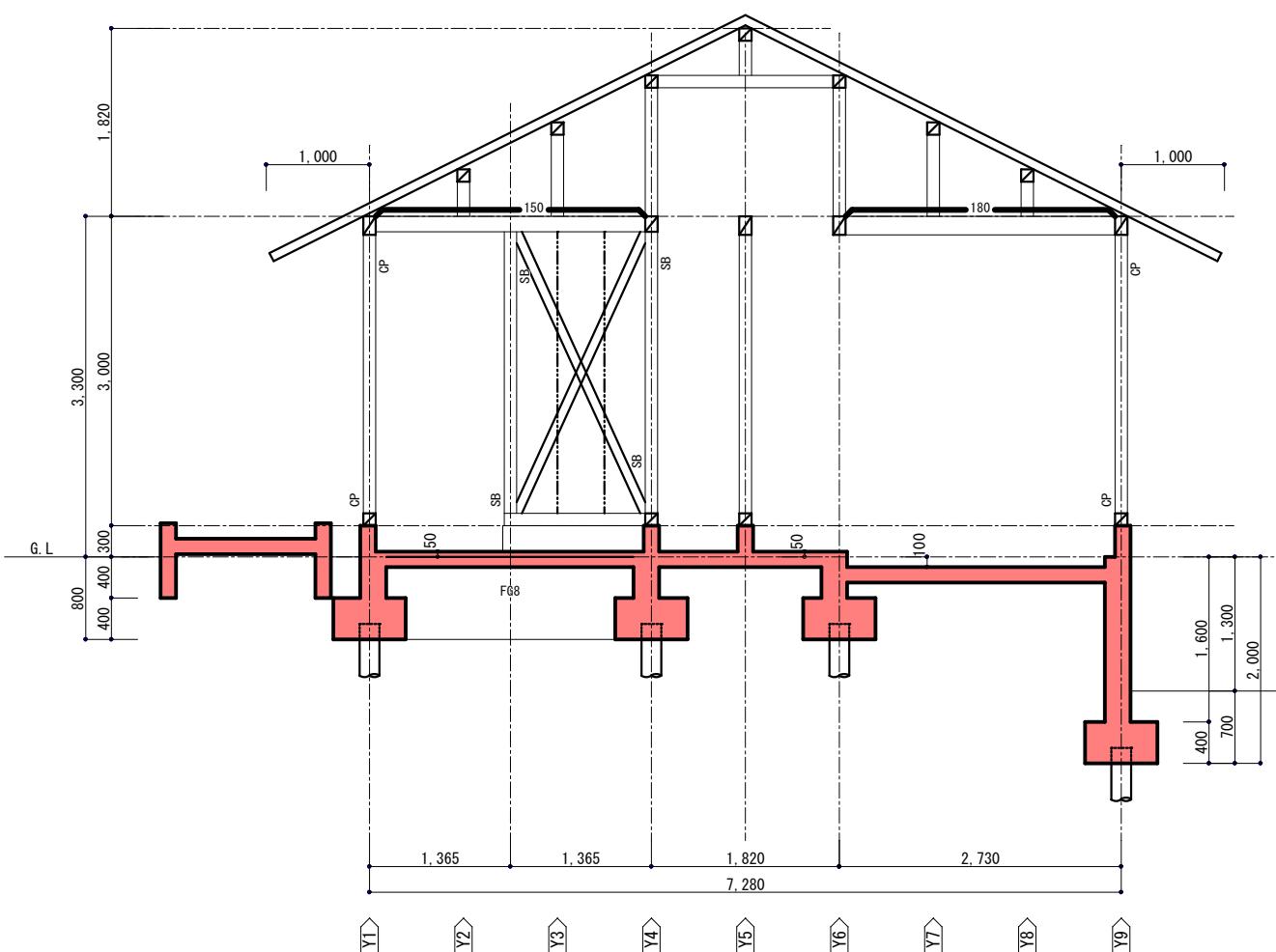
X1 通軸組図



X6 通軸組図

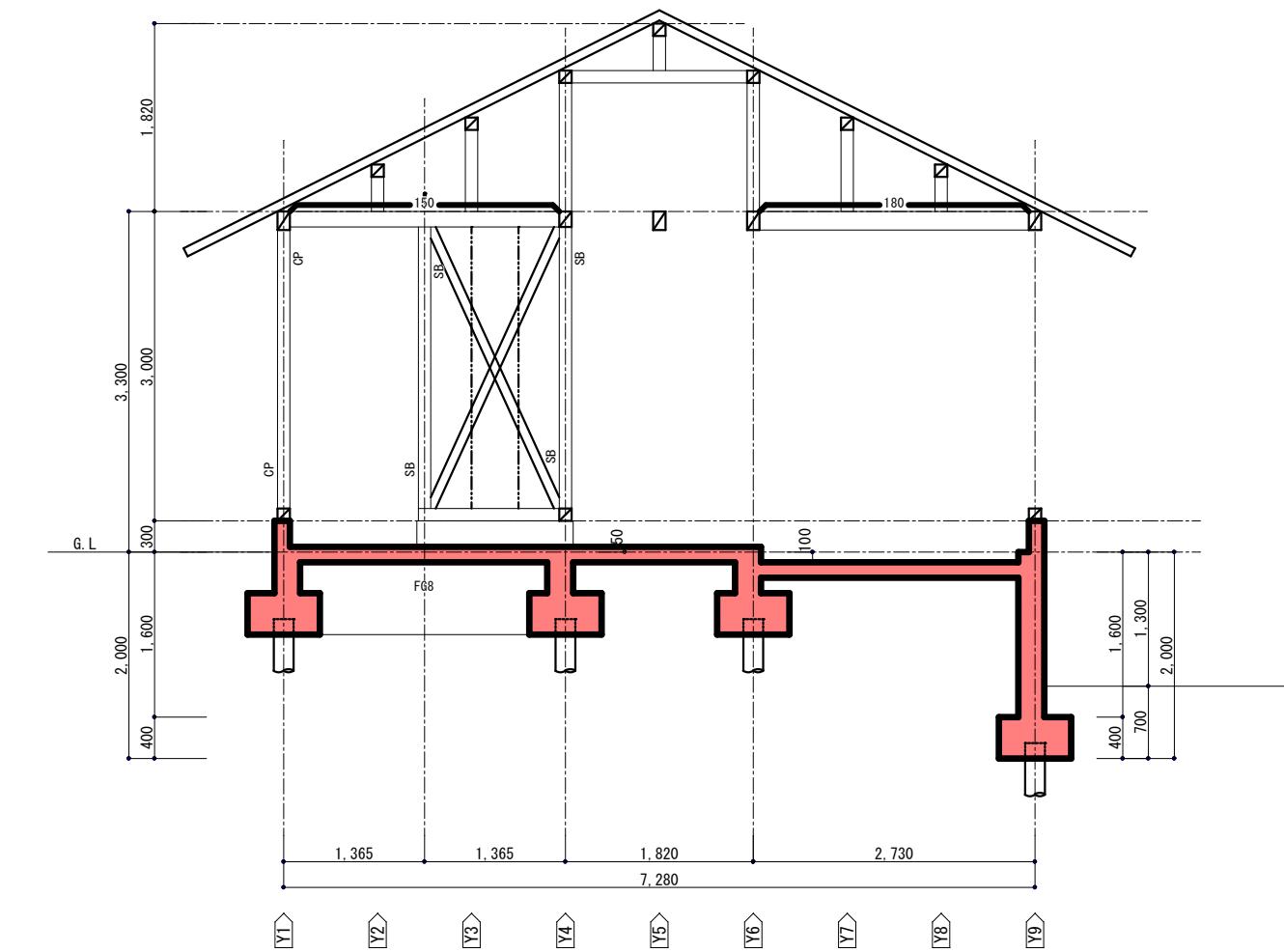
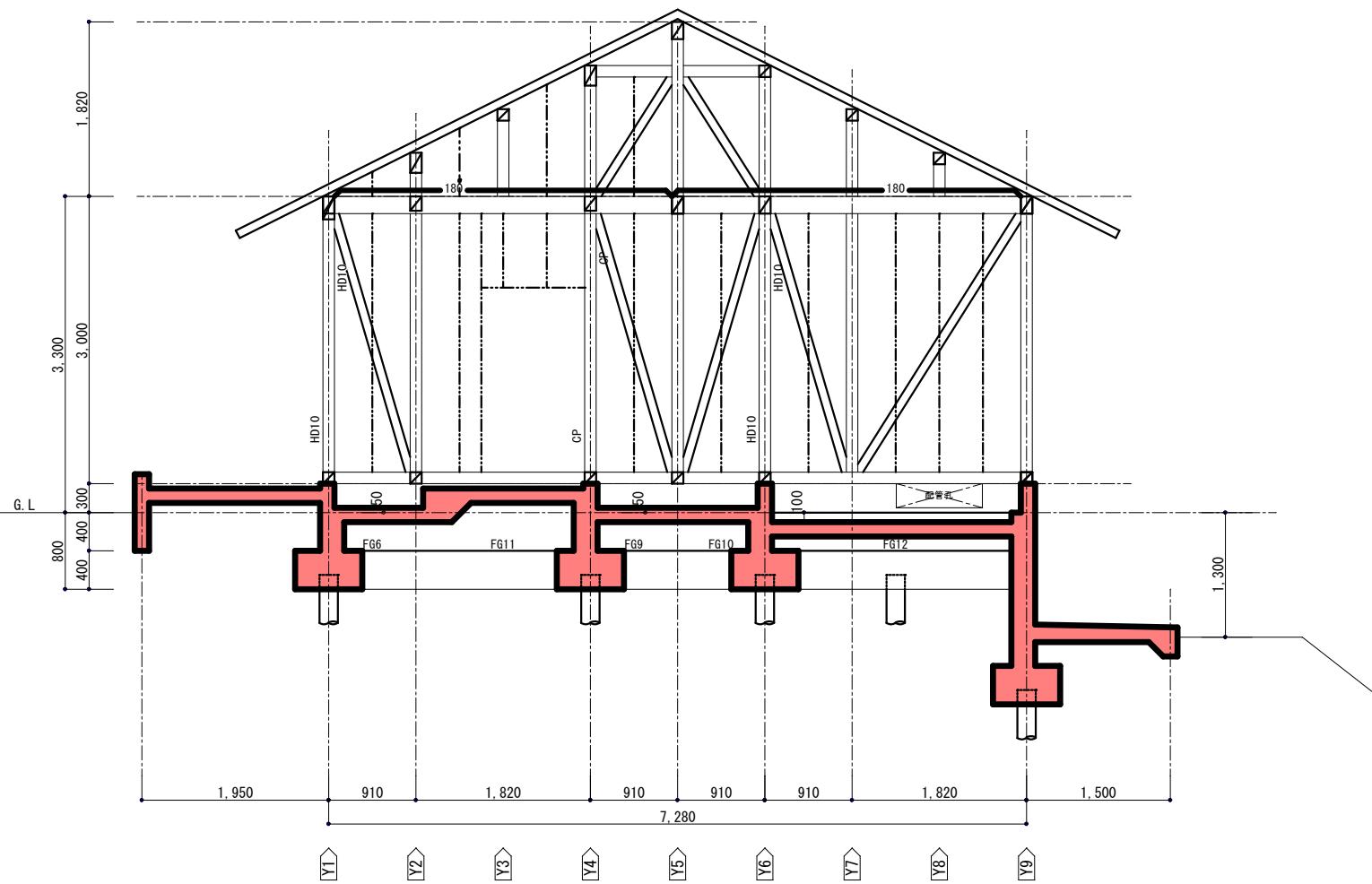
	構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木正二	都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事	縮尺	設計年月日	図面番号
		一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤樹				図面名	X1、X6通軸組図	A2:1/50 A3:1/71	2013/02/07	S-13

特記事項 特記なき限り	
土台 構造	120x120
梁 杉	米松 : 120x120 小屋束 杉 : 120x120
柱 杉	120x120 間柱 杉 : 45x120
筋達 杉	: 45x 90



構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木 正二	都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	一級建築士大臣登録 第190003号 承認 設計 担当 製図 工事名 平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事	縮尺 A2:1/50 A3:1/71	設計年月日 2013/02/07	図面番号 S-14

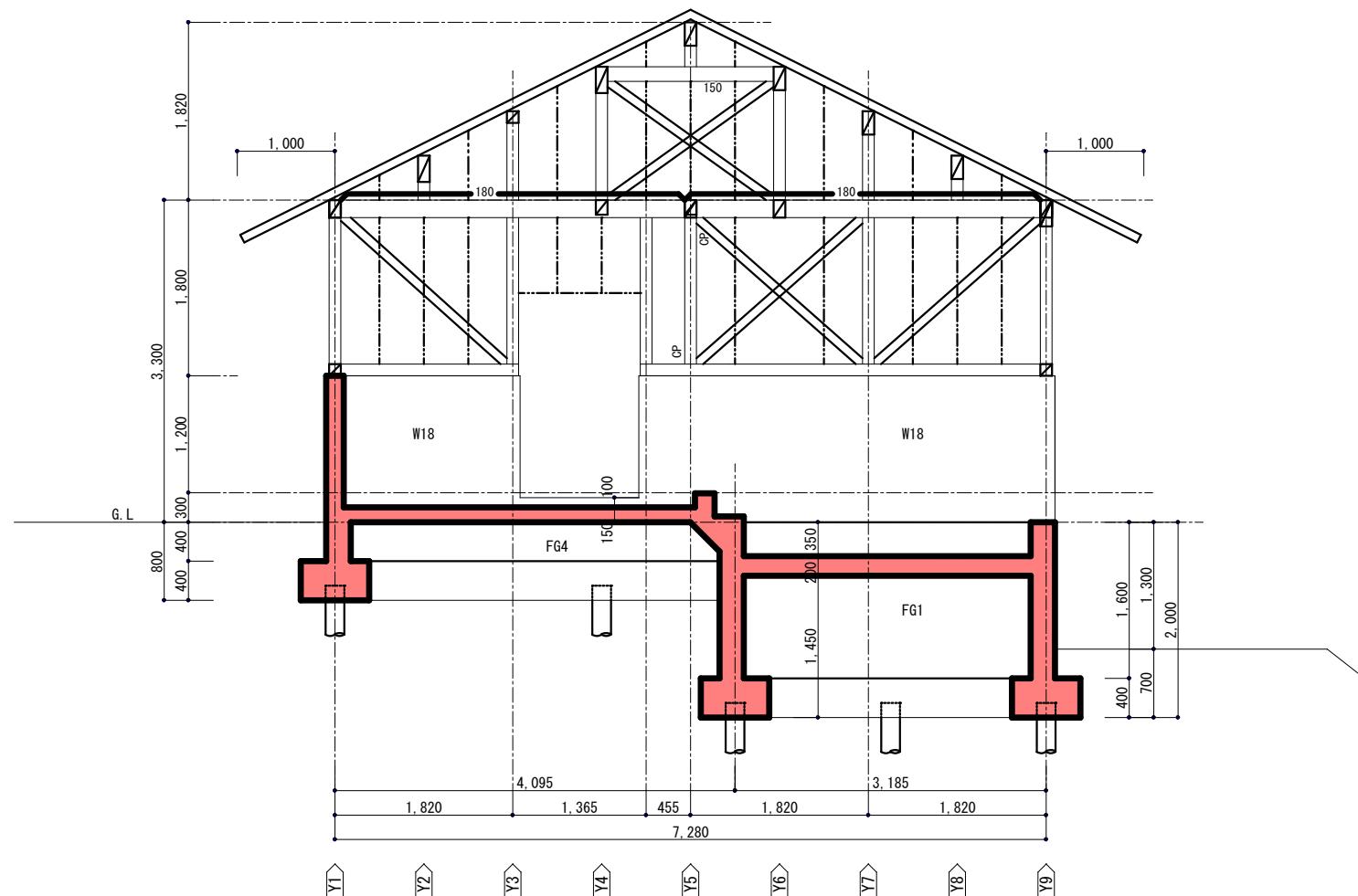
特記事項 特記なき限り	
土台 構造 : 120x120	
梁 米松 : 120x120	小屋束 杉 : 120x120
柱 杉 : 120x120	間柱 杉 : 45x120
筋達 杉 : 45x 90	



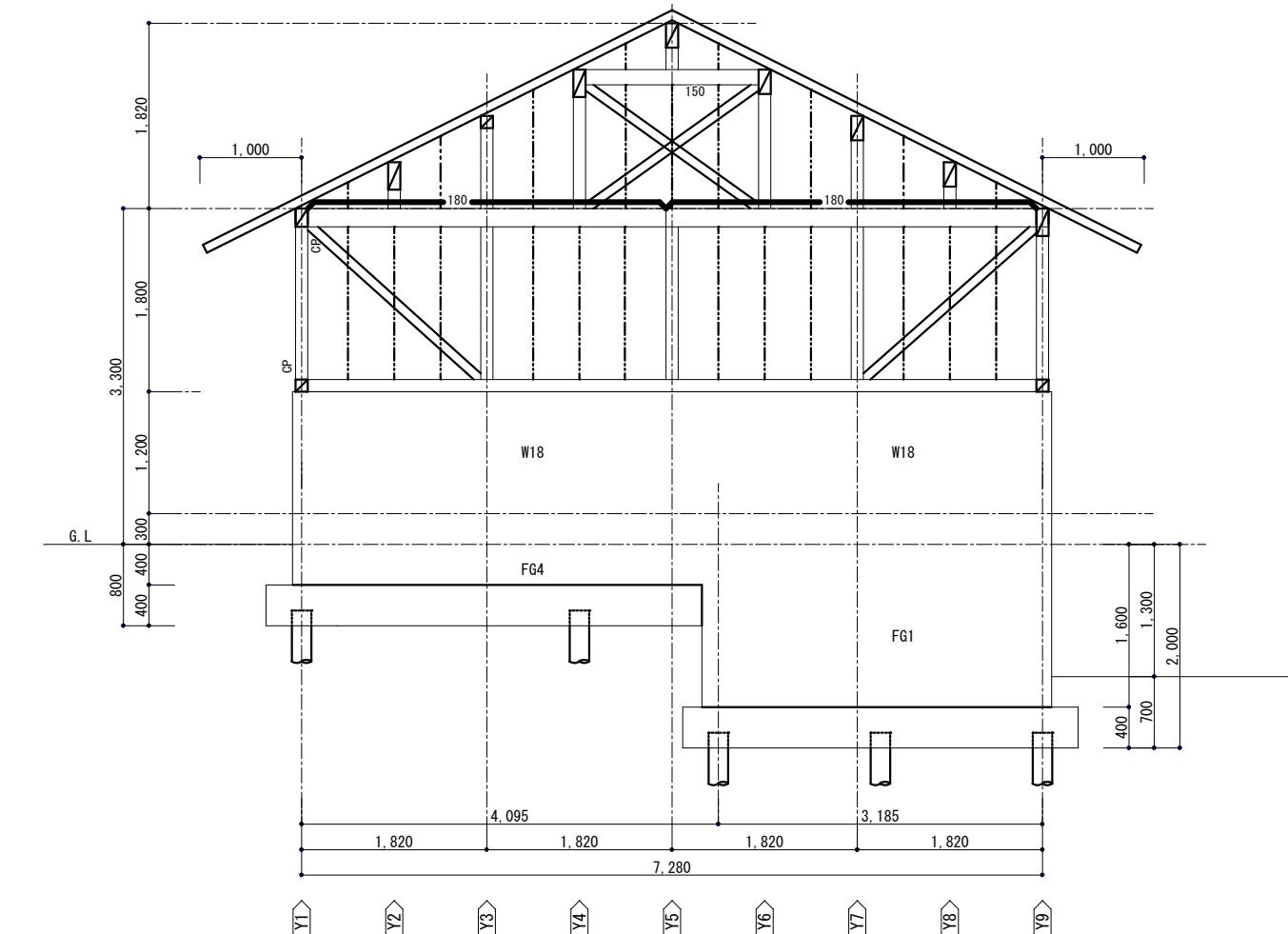
構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木 正二	都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士大臣登録 第190003号	承認 設計 担当 製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事		縮尺 設計年月日
				熊谷 藤樹	図面名	

S-15

特記事項 特記なき限り	
土台 桧	: 120x120
梁 米松	: 120x120 小屋束 杉 : 120x120
柱 杉	: 120x120 間柱 杉 : 45x120
筋違 杉	: 45x 90



X17c 通 軸 組 図

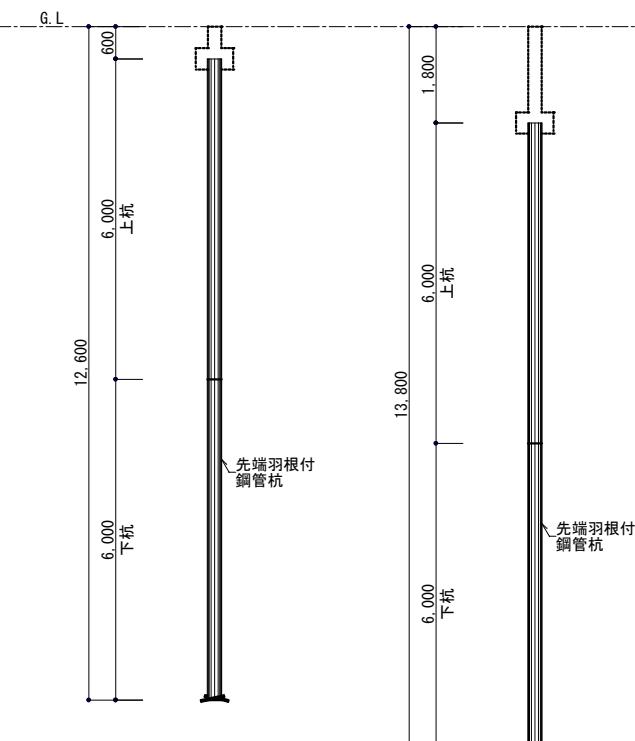


X21 通 軸 組 図

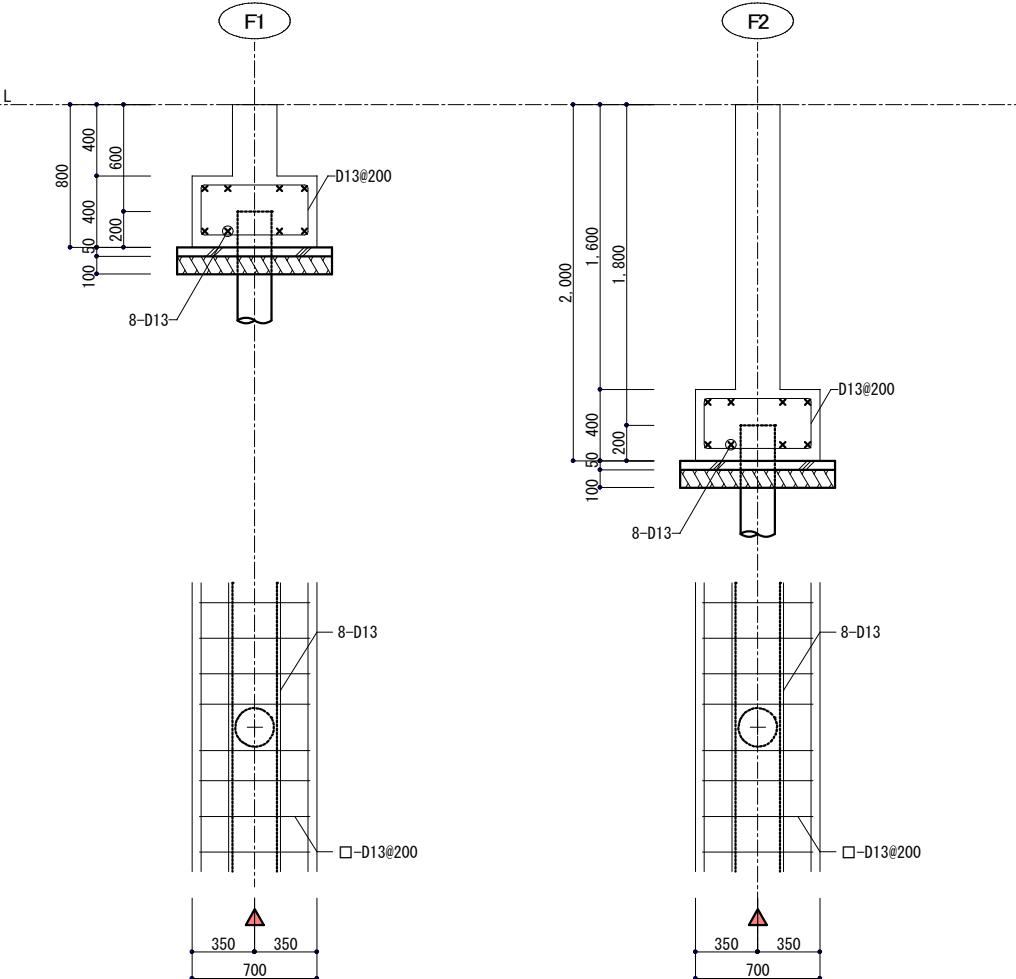
基礎リスト

杭心を示す

F1 姿図



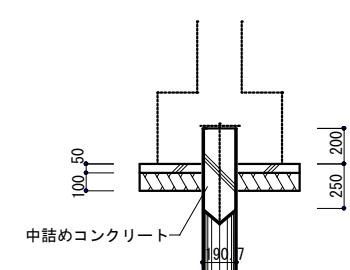
F2 姿図



基礎一覧表

符号	杭径	先端羽根部径	杭実長	杭本数	
F1	190.7 (t=5.3)	446以上	12.0 m	24	
F2	190.7 (t=5.3)	446以上	12.0 m	27	
合計				51	

工法 大臣認定工法（回転圧入鋼管杭）Ra = 78 kN/本
ジエクスピール、エコロックパイル等
支持地盤 N ≥ 10 ローム層
杭長 12.0 (6.0+6.0) m
杭は鋼管杭でSTK400同等品とする
杭長は試験杭(4セット)を実施し、支持層を確認後決定する
実施に当り上記仮定数値に相違有る時は設計変更を行う



杭頭補強図

地中梁リスト(1)

特記なき限り
腹筋 4-D10

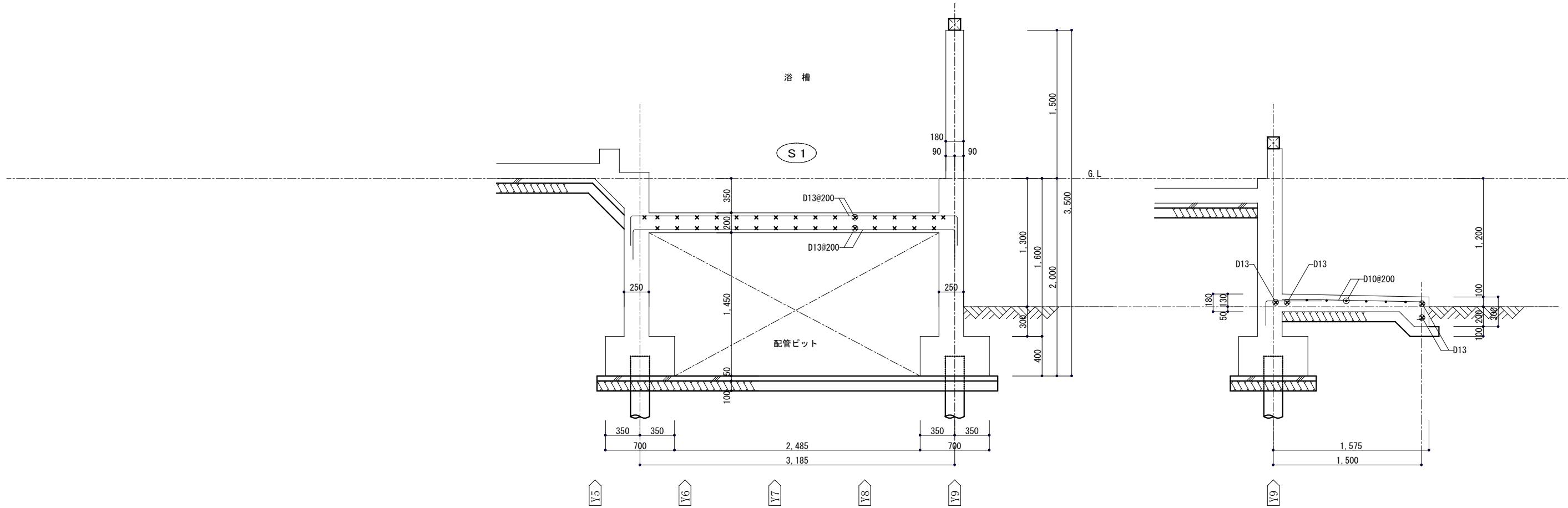
巾止筋 D10@600

符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面					
B x D	250 x 1,800	250 x 1,800	250 x 1,800	250 x 600	250 x 600
上端筋	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19
下端筋	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19
S.T.P	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D10 @200
腹筋	16-D10	16-D10	16-D10		
符号	FG6	FG7	FG8	FG9	FG10
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面					
B x D	250 x 600	250 x 600	250 x 600	250 x 600	250 x 600
上端筋	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19
下端筋	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19
S.T.P	□-D10 @200	□-D10 @200	□-D10 @200	□-D10 @200	□-D10 @200
腹筋					

地中梁リスト(2)

特記なき限り
腹筋 4-D10 帯止筋 D10@600

符 号	F11	FG12	FG13		
位 置	全断面	全断面	全断面		
断 面					
B x D	250 x 600	250 x 600	250 x 600		
上端筋	2-D19	2-D19	2-D19		
下端筋	2-D19	2-D19	2-D19		
S.T.P	□-D10 @200	□-D10 @200	□-D10 @200		
腹 筋					



S 1 配 筋 図

給湯器置場配筋図

構造設計担当者 有限会社スケルトン 神奈川県知事登録第9980号 一級建築士 登録第207211号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木 正二	都市開発コンサルタント株式会社 一級建築士大臣登録 第190003号 一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号 構造設計一級建築士登録第4527号 佐々木 正二	承認 設計 担当 製図 工事名 平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事 図面名 地中梁リスト(2)	縮 尺 設計年月日 A2:1/30 A3:1/42 2013/02/07	図面番号 S-19
---	--	--	---	--------------